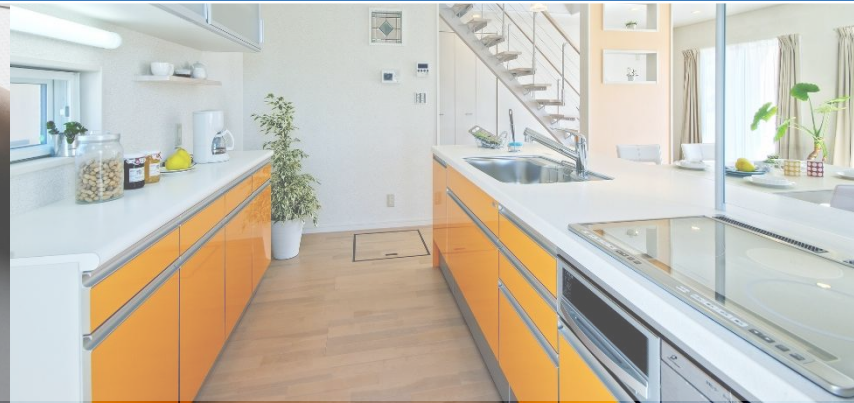




Sobagni

2026年3月期
決算概要説明
2026年5月8日

共和レザー株式会社
証券コード3553



決算概要 (1) 連結決算の概要

- ・北米向けを中心とした売上減、構成悪化による利益減を、円安や中期経営計画の積極投資の遅れ(償却費)および経費の減少により、結果としてカバーした
- ・期初懸念された材料高騰については、ルール化を実現し、中長期の経営影響を許容可能なレベルに留めることができた

(百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		増減	
	実績		実績			
売上高	56,397	100.0%	55,816	100.0%	▲581	▲1.0%
営業利益	2,140	3.8%	920	1.6%	▲1,220	▲57.0%
経常利益	1,679	3.0%	1,006	1.8%	▲673	▲40.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,100	2.0%	655	1.2%	▲445	▲40.4%

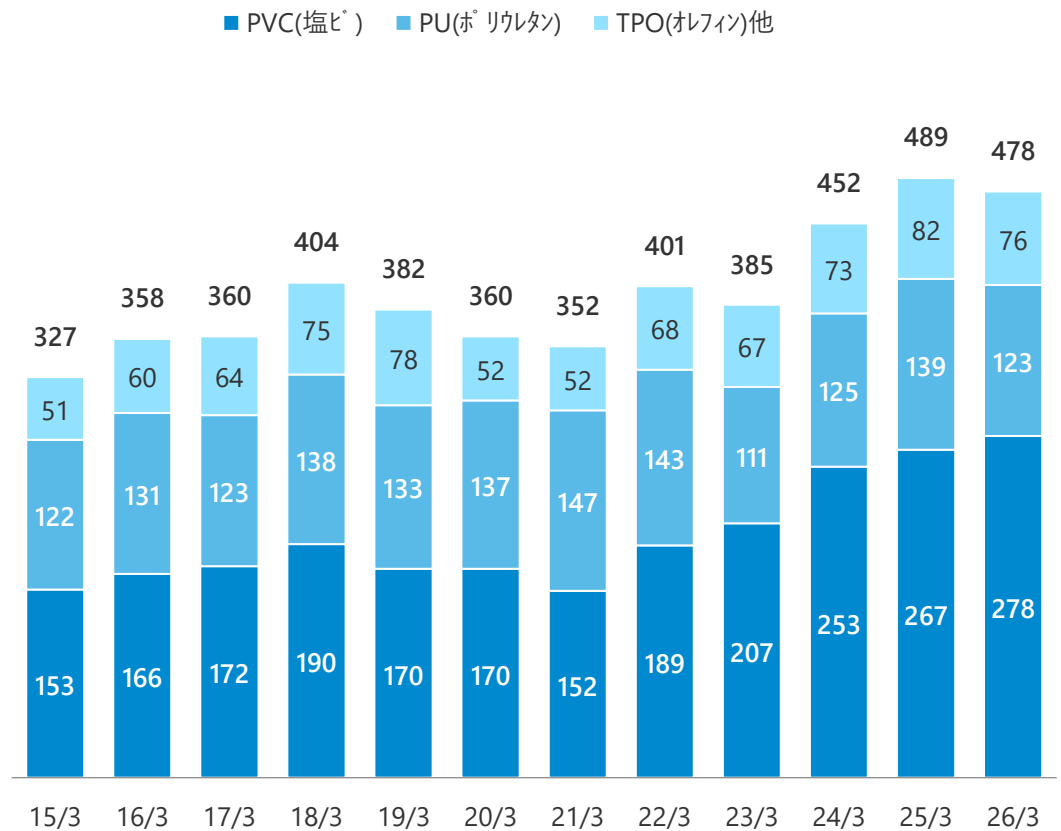
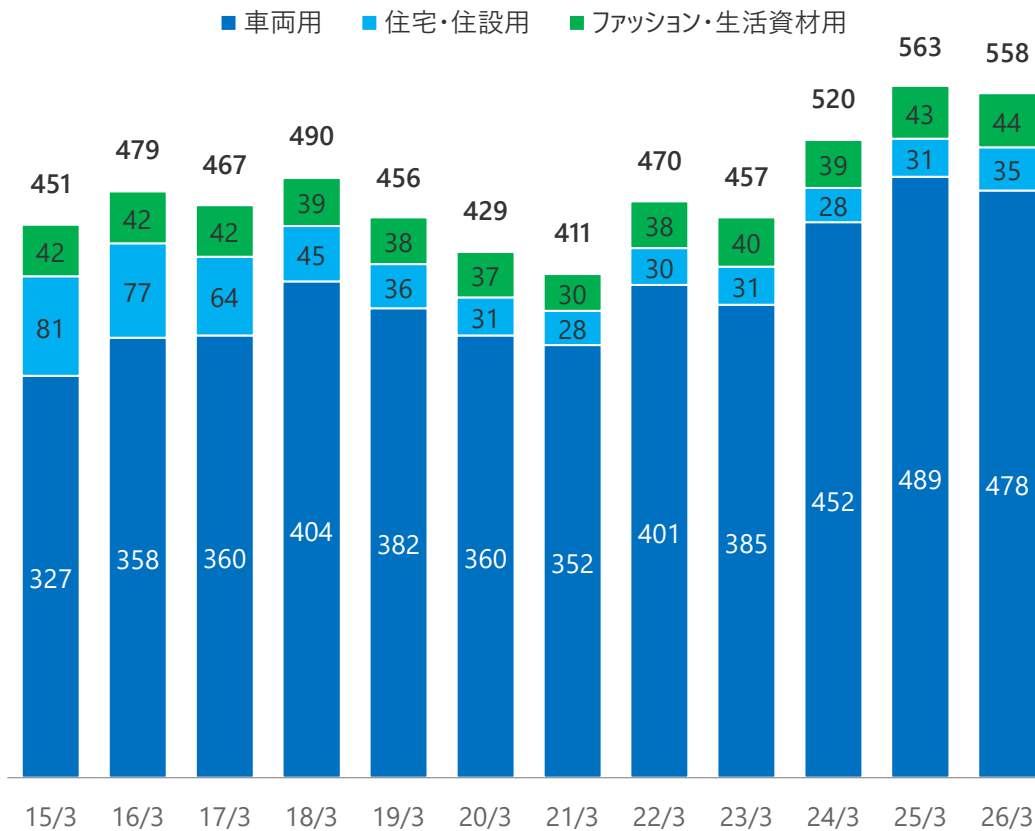
1株当たり当期純利益	46円10銭	27円51銭
1株当たり配当金	32円00銭	52円00銭

決算概要 (2) 用途別売上高

- ・車両用は、原材料価格高騰をカバーする販価改定他を含むも、前半期の北米向け減少により、前期比▲2.2%減の478億円
- ・住宅・住設用は前期比13.6%増の35億円、ファッション・生活資材用は前期比1.9%増の44億円

連結売上高 (億円)

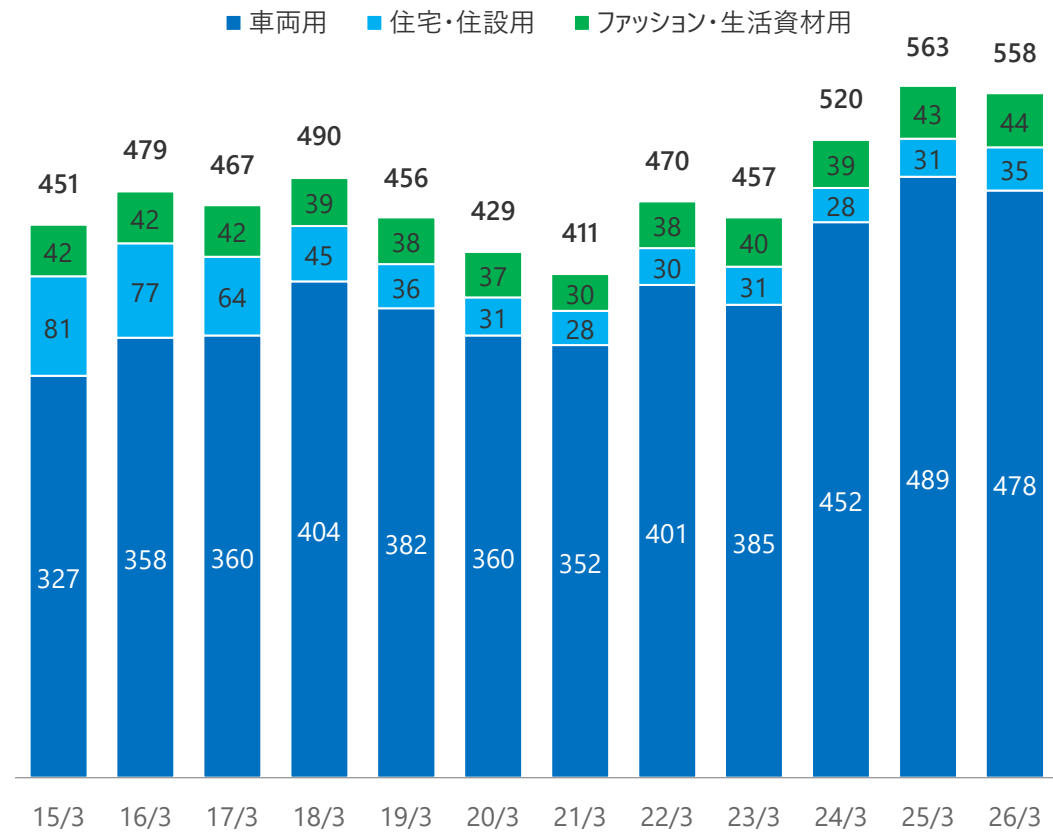
うち車両用売上高 (億円)



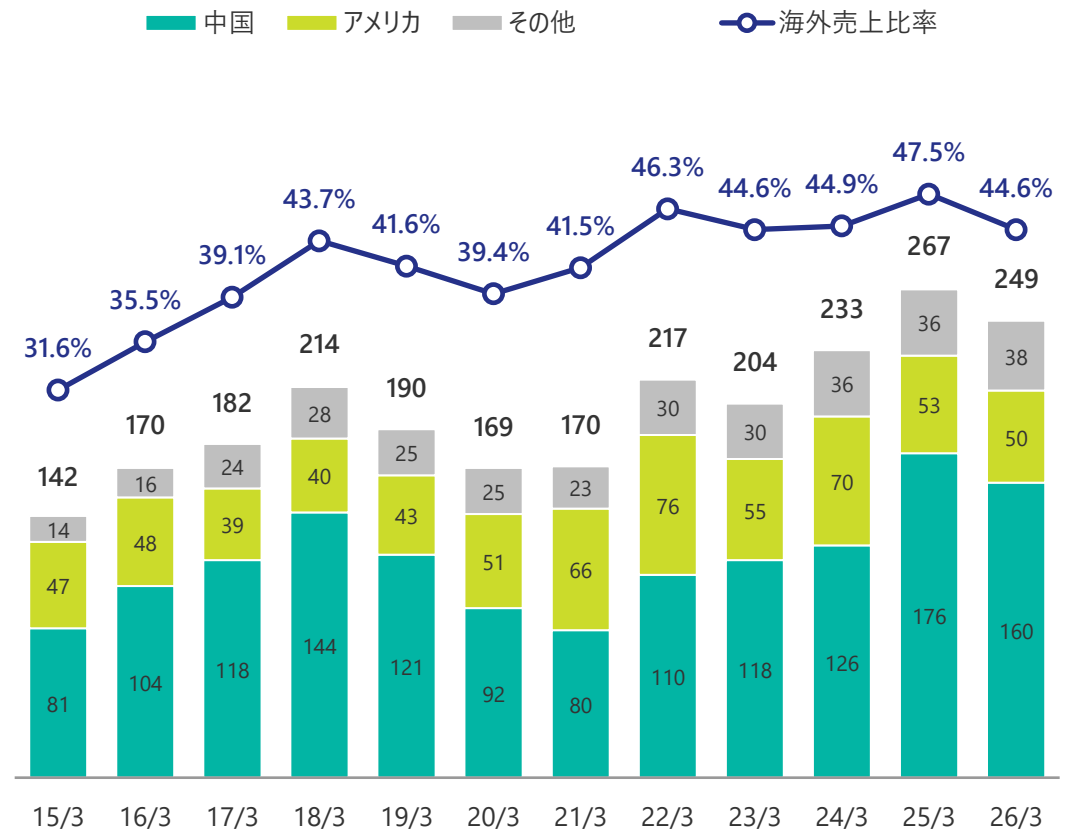
決算概要 (3) 海外売上高

- ・主に中国現地EVメーカーの受注減などにより、海外売上高比率は44.6%に減少
- ・上期に落ち込んだ北米向け売上は、下期は回復基調

連結売上高 (億円)



うち海外売上高 (億円)



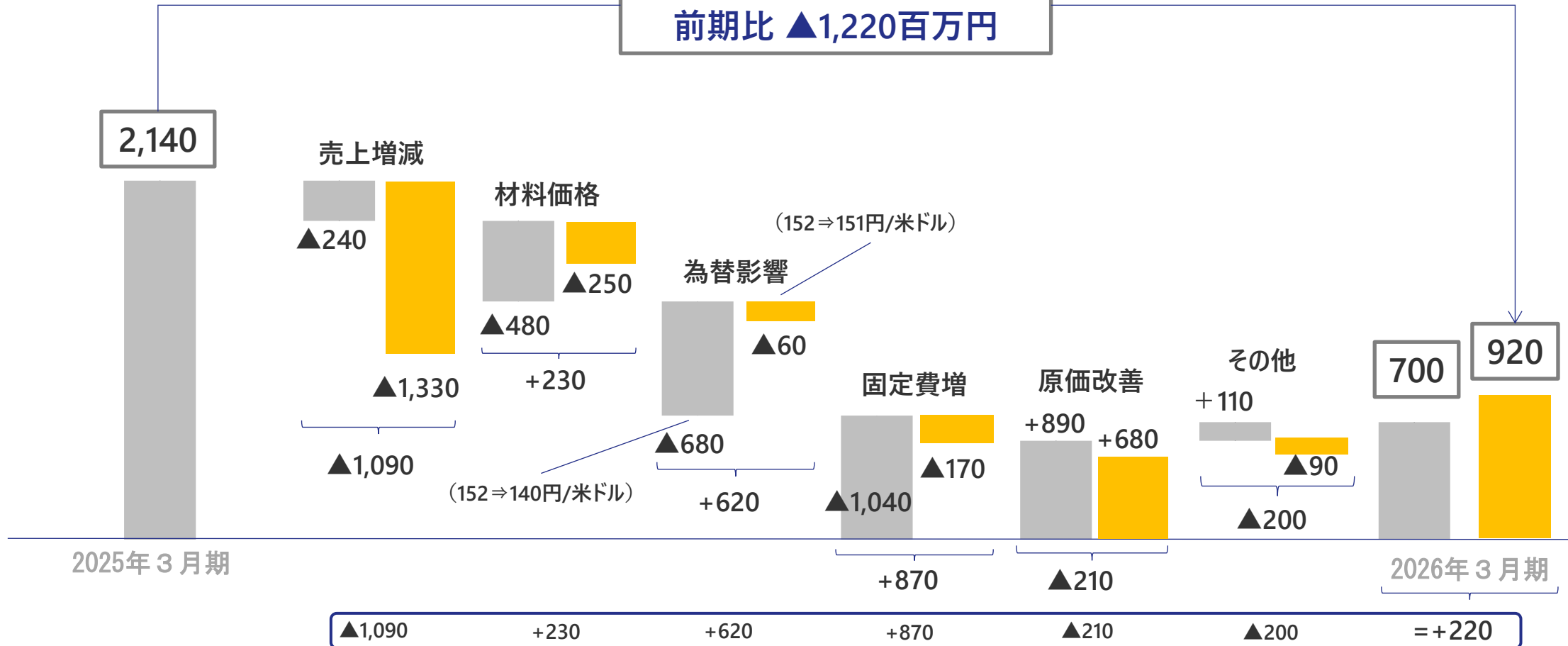
決算概要 (4) 営業利益増減要因 (前期比)

期初公表

実績

営業利益
前期比 ▲1,220百万円

(百万円)



業績予想（1）連結業績予想

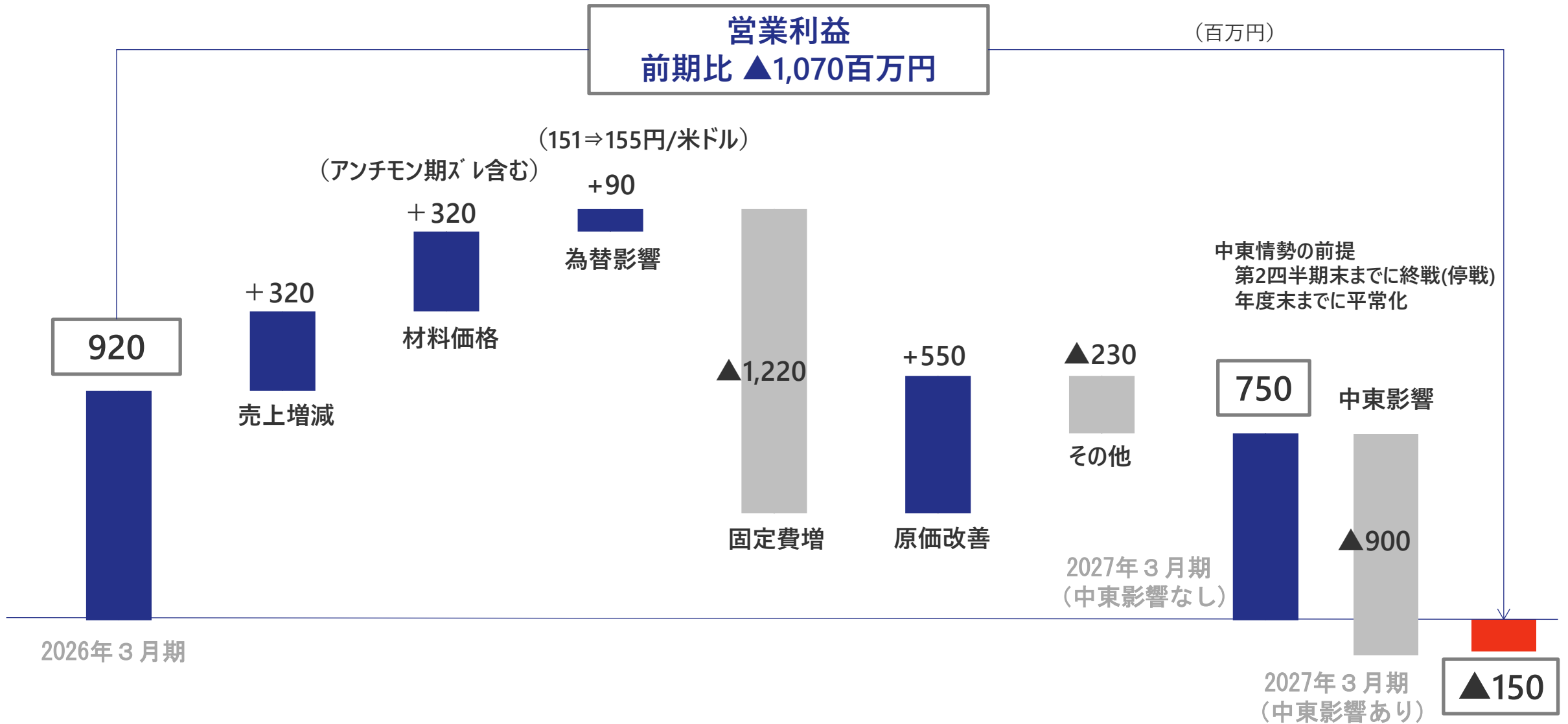
- ・2027年3月期は、中期経営計画の実現を見据えた積極投資の最終年度として、老朽化更新やDXなどへの大規模投資に伴う減益をあらかじめ想定していたが、中東情勢による想定外の原材料高騰が重なり、一時的な赤字となる見込み
- ・一方で、十分な手元資金を確保していること、取引先との価格転嫁に関する契約条件を踏まえると、来期以降の利益への波及も抑制可能なことから、中期経営計画の投資方針は変更なし

(百万円)

	2026年3月期		2027年3月期		増減	
	実績		予想			
売上高	55,816	100.0%	55,000	100.0%	▲816	▲1.5%
営業利益（▲は損失）	920	1.6%	▲150	▲0.3%	▲1,070	- %
経常利益（▲は損失）	1,006	1.8%	▲400	▲0.7%	▲1,406	- %
親会社株主に帰属する当期純利益（▲は損失）	655	1.2%	▲500	▲0.9%	▲1,155	- %

1株当たり当期純利益（▲は損失）	27円51銭	▲20円98銭
1株当たり配当金	52円00銭	52円00銭

業績予想 (2) 営業利益増減要因 (前期比)

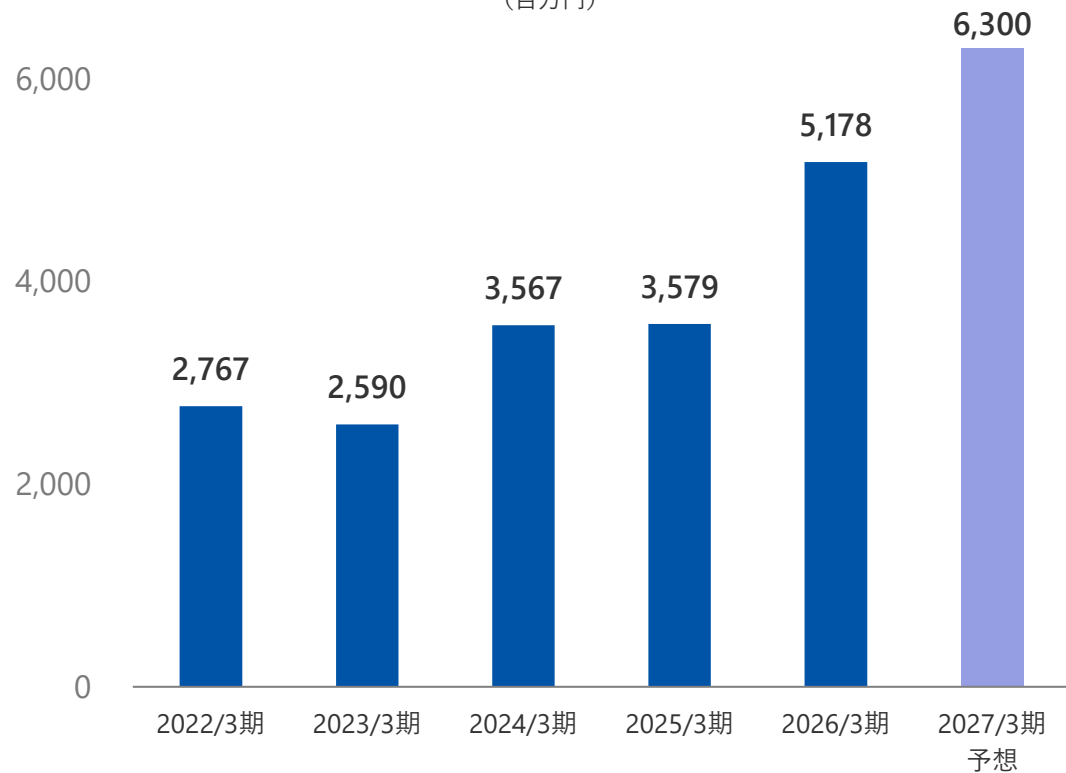


業績予想 (3) 設備投資、減価償却費

- ・2026年3月期は老朽化更新として天竜第一工場のカレンダー設備の新設や付帯工事、および後工程の能力増強のため新発泡機の導入、新秤量機の工事を行った
- ・2027年3月期は引き続き天竜第一工場の製造ラインの再構築を計画、中計実現に向け投資成果の具現化を進める

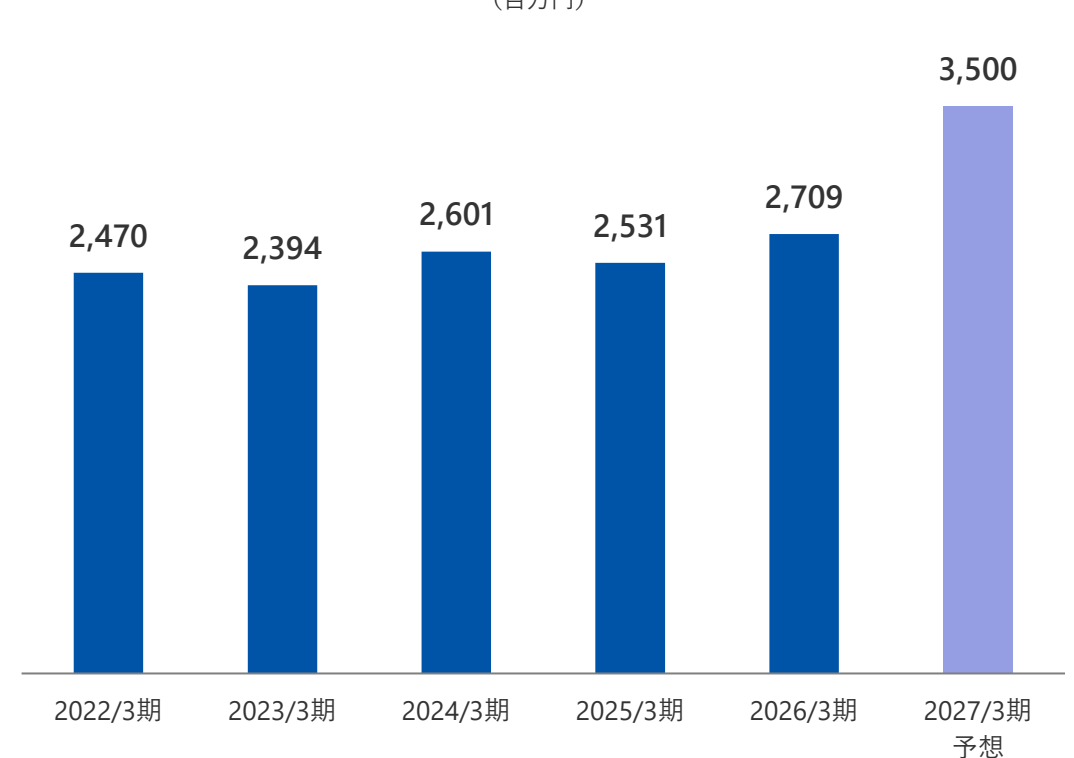
設備投資金額の推移

(百万円)



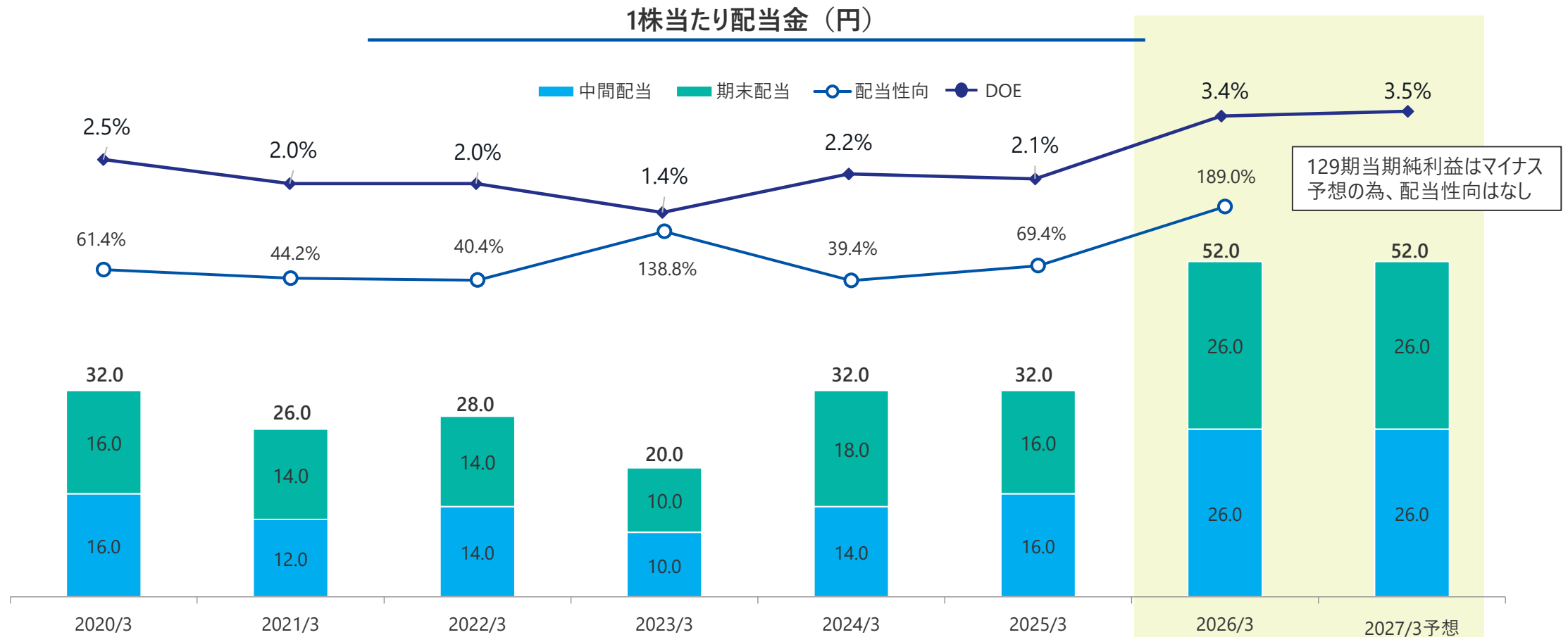
減価償却費の推移

(百万円)



業績予想（4）株主還元

- ・中東情勢による一時的な赤字が見込まれるが、十分な手元資金を確保していること、取引先との価格転嫁に関する契約条件を踏まえると、来期以降の利益への波及も抑制可能なことから、配当性向50%に加え、DOE 3.5%を目途とする配当方針に変更なし
- ・2026年3月期、2027年3月期ともに年間配当52.0円を予定





【お問合せ先】

共和レザー株式会社

総務部

TEL 053-425-2121(代表)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。